

令和6年度 第5回 北部公民館運営審議会
議事録

日	時	令和7年3月18日（火） 午後3時00分～5時53分
会	場	船橋市北部公民館 講堂

午後 3 時 0 0 分開会

○朝隈委員長

ただいまより、令和 6 年度第 5 回北部公民館運営審議会を開催いたします。

事務局より諸事項の確認がありますので、お願いいたします。

○事務局（北部公民館長補佐）

では、お配りさせていただきました事前資料も含めてご確認をお願いしたいと思います。
インデックスのついたホチキス留めのものが事前にお配りさせていただいた資料ですが、事業の報告、3 月 31 日までの分と、地域の状況、課題、重点目標、そして横のエクセルの表になっております事業計画、その 3 点が公民館ごとになっております。それと併せまして、冊子とは別になりますが、社会教育関係団体の登録申請ということで、今回 3 件ほど資料をつけさせていただいております。そして、緑色の表となったものを机の上に置かせていただきましたので、表紙ということでお願いしたいと思います。あとは、各館の館報です。

それ以外のものとしたしましては、審議会の名簿、そして座席表、そして冊子等になりますが、「船橋の社会教育」、そして「まなびの風」、こちらは教育の情報誌ということで、お荷物になってしまっただけ申し訳ありませんが、こちらのほうも配らせていただきましたので、よろしくをお願いいたします。

では、続きまして、本日の会議の開催要件について申し上げます。

本日、海老原委員からご欠席の連絡をいただいております。

本日の審議会は、委員 10 名中、9 名のご出席をいただいておりますので、船橋市公民館条例施行規則第 15 条第 3 項の規定によりまして、半数以上の出席がございますので、この会議は成立いたします。

会議の公開につきましては、船橋市情報公開条例第 26 条及び船橋市附属機関等の会議の公開実施要綱の規定により、当審議会も原則公開になります。議事録作成のため会議の内容について録音させていただきますので、あらかじめご了解いただきたいと思います。議事録につきましても、後日、ホームページのほうで公開となります。

また、本日の議事（4）につきましては、船橋市情報公開条例第 7 条第 1 項第 2 号に基づく不開示情報を審議することから、同条例第 26 条第 2 号に該当するため非公開となります。議事（4）の資料につきましては、会議後に回収をさせていただきます。

それでは、議事に入ります。議事進行は船橋市公民館条例施行規則第 15 条第 2 項の規定により委員長が議長となります。それでは、朝隈委員長、議事進行をお願いいたします。

○朝隈委員長

分かりました。議事に先立ちまして、議事録署名人を指名させていただきます。今回は、湯浅委員をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

本日の傍聴のお申し出はございません。

では、議事に入ります。本日の議事はお手元にある資料のとおりでございます。

議事（１）についてですが、事業報告については事業内容を事業計画のときに既に説明しているため、結果について報告を要するものに絞るようにお願いいたします。

では、議事（１）「事業報告（12月17日～3月31日）」について、北部公民館より順次ご説明をお願いいたします。なお、ご意見、ご質問等につきましては、8公民館の説明終了後に受けたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

では、北部公民館からよろしくお願いいたします。

○北部公民館長

北部公民館です。着座にて失礼いたします。12月17日から3月31日の事業報告につきまして、評価と人数が空欄になっているところがございますので、そちらを中心に報告させていただきます。

まず、報告1、青少年事業の「ふなばしハッピーサタデー事業」、3月15日の人数の報告からになります。全体として9名、内訳として男性3名、女性6名という形になります。評価のほうですが、ハッピーサタデー事業については、スポーツ推進委員、青少年相談員、アースドクターふなばし、生涯学習コーディネーターなど様々な方にご協力をいただきまして、1年間子供たちが楽しく学んでもらえる内容を提供できたと思っております。北部地区は子供自体が少ないので、参加人数としてはほかの館と比べると全体の人数は少ないところではございますが、来年度以降も子供たちに楽しんでもいただけるような地域の拠点として活動してまいります。

続きまして、次ページの報告2、「北部公民館子どもまつり」、こちらは評価等の記入はありますが、初めての実施ということで報告をさせていただきます。児童ホームなどが併設されている場所や地域とのつながりが非常に深いところの公民館は例年実施しているのですが、北部地区としては初めて実施したところでございます。実施に当たりまして、講師のところに書かれているように、地域の団体の皆様にご協力いただいたところでございます。また、近隣の豊富高校や特別支援学校の方たちにも参加をしていただいて、企画やそれぞれのところで考えていただいた内容を、発表とかコーナーという形で持っていただきました。特に豊富高校さんは企画運営から全て携わっていただき、非常に充実した内容ということで高校生たちも満足した形となっております。

続きまして、その下の段の「とよみスタディースペース」、こちらの人数ですが、実は3月31日までの事業ということで、まだ参加人数のほうは埋められていない状況でございます。こちらについてはホームページ等で最終的に資料を掲載することになるのですが、そちらのほうに人数を入れたものを出したいと思っております。

内容としましては、当初夏休みの期間を空きスペースを提供する形で考えていたのですが、夏休み以外も定期テストや受験勉強など、来年度の大学受験を控えている子供たちが使わせてほしいという要望もありまして、1年間実施した形になります。実際に部屋を貸してあげる

ということで、「落ち着いて勉強できました」という肯定的な意見をいただいたり、大学受験の子も3月、ちょうど先週来て「大学受かりました」ということで報告もありました。こちらとしても、やってとてもよかったなど満足しているところでございます。来年度も空きスペースがありましたら、こういった形で地域の方に提供できるように考えてまいります。

続きまして、次ページの報告3「初めての陶芸体験」、こちら3月7日の人数になります。全体として10名、内訳としましては、男性3、女性7の10名となります。こちらの事業ですけれども、北部公民館のほうに陶芸窯があるということで実施している事業となります。参加された方は、最初のうちはうまくできるかどうかとても不安ですということで、講師とか我々職員のほうにも申し入れているところはあったのですけれども、講師の方が非常に丁寧な方で、また周りの方とも打ち解けて実施することができたということで、最後は皆さん楽しく事業をできたということで報告を受けております。また、事業ではなくて定期的にやりたいという声もいただいております、北部公民館のサークル等を案内したところでございます。また、ご夫婦で参加される方もいらっしゃって、新しい趣味ができたということで非常に満足されたという声も聞いております。

続いて、次ページの報告4「豊富寿大学」の3月13日の人数になります。合計で32名、内訳としまして、男性6名、女性26名となっております。評価としましては、1年間の事業ということで様々な内容を職員のほうで考えまして、健康を維持するための講演、社会問題化している防犯の指導、また、パラスポーツの体験とか落語など多種多様な内容を、包括連携協定を締結している企業に依頼するなど、あとは関係課にも協力依頼をする形で実施いたしました。人数自体は30名弱ということになってはいるのですが、皆様楽しみにされている方も多くいらっしゃいますので、豊富地区の地域活動ということで高齢者事業のほうを次年度以降もまた実施していきたいと考えております。

続いて、報告5「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」、こちら評価のほうが無記入なので報告いたします。関係部署と協力しまして地域高齢者の運動機能を強化することができまして、フレイルの予防に努めることができました。また、市民のヘルスマーケティングを実施したところ、地域の健康づくりについてみんなで楽しく語り合うことができたということで、肯定的な意見をいただいております。

続いて、ちょっと飛びまして、報告7「卓球開放」になります。こちらは1年間定期的に事業を実施することで、一定の参加者を得ることができました。また、土曜日の開催においては放課後ルームの子供たちも参加して、参加した子供たちは大変喜んでいただいております。また、ここ豊富地区は娯楽施設等も少ないところでありますので、こういった形で皆様が楽しく参加できる機会の提供を次年度以降も実施していきたいと考えております。

最後に、報告8、「サークル活動展示 "104103 (とよとみ) ギャラリー"」になります。こちらの評価ですけれども、サークルの活動の様子やサークル活動で作成した作品を展示しました。こちらはギャラリーを設置することで会員がすぐに増えたのかということ、なかなか難

しいところはあるのですけれども、興味を持って見ていただいたということは評価につながるところなのかなと思います。また文化祭の際にでも、サークル見学とか体験とかその辺も併せて、次年度以降も北部公民館の空きスペースを利用しまして、サークルに加入されている皆様の活動等をこちらからPRできる形にバックアップしていきたいと考えております。

北部公民館からの報告は以上となります。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、二和公民館さん、お願いします。

○二和公民館長

二和公民館の3月31日までの主な事業について報告いたします。

初めに、青少年対象です。「ふなばしハッピーサタデー事業」及び「書初め教室」を記載のとおり開催いたしました。

次ページに移りまして、成人対象の三咲小及び二和小のPTAとの共催による「家庭教育セミナー」を記載のとおり開催いたしました。

次に、「デジタルデバイド対策事業」の最終回といたしまして、スマホの基本操作とLINEによる通話方法などを学びました。

次の「二和のまちづくり推進事業」では、船橋市消費生活センター消費生活相談員より消費者トラブルの具体的な事例と対策を学びました。

次のページに移りまして、高齢者対象事業です。「二和寿大学」を記載のとおり開催しました。なお、最後の閉校式と落語の参加者数は、男36、女120、計156人となりましたので、ご記入のほどお願いいたします。

次の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」です。月曜コースの3月10日分の参加者数は、男13、女52、計65名となりましたので、ご記入のほどお願いいたします。

次のページになります。火曜コースですが、最終回となる3月25日の参加者数は、事業終了後、事務局へ報告させていただきます。

次の「介護予防教室」では、昭和歌謡に合わせて振り付けをする運動が大盛況で、参加者から好評を博しました。

次のページに移りまして、複数対象です。「巡回児童ホーム事業 0・1・2歳ぽかぽか広場」、3月12日分の参加者数は、男6、女22、計28名となりましたので、ご記入のほどお願いいたします。

次の「子育て支援事業 にこにこ広場」の最終回となる3月28日の参加者数は、事業終了後、事務局へ報告いたします。

次のページに移りまして、「第16回北部市民ウォーク」ですが、今年度は三咲駅をスタートして船橋北高校方面から高野台を回るコースを組みまして、北部の自然と歴史に触れながらゴールの二和公民館を目指し、参加者26名が2時間を完歩しました。

次に、「二和劇場」になります。1月18日には真打の三遊亭遊雀師匠を招いての寄席を、2月22日はピアニストの高木しおりさんを招いての地域ふれあいコンサートを行いました。共にチケットは完売いたしております。

最後のページになります「サークル活動支援事業」では、サークルにより見学者や体験者数に差があったことから、今後は事業の周知方法をもう少し増やしていきたいと考えております。

次の「バリアフリー映画鑑賞会」の2回目となる3月28日の参加者数は、事業終了後、事務局へ報告させていただきます。

二和公民館からは以上となります。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、海老が作公民館さん、お願いします。

○海老が作公民館長

海老が作公民館の主な事業についてご説明を申し上げます。

まず、青少年事業でございます。「ふなばしハッピーサタデー事業」として、2月23日に海老が作こどもまつりを実施いたしました。3連休の中日ということもあり参加者数に不安はありましたが、子供たちの発表、また、特に今年については大穴北小学校の4年生の有志の参加ということもございまして、とても盛況な状態になりました。多くのご参加をいただいております。また、当日は気温がとても低く寒い一日だったのですが、その中でも日差しが出てきたお昼頃については、外に用意してありますテントの下で模擬店のフランクフルトやお餅とかを食べる姿が見られ、とても皆さん楽しんでいるように見えました。

次に、成人事業でございます。下の段になります「えびがさくサークル一日体験講座」でございます。それぞれの参加人数については1人、2人という形で少ないのですが、それだけということではなく、募集の段階から公民館での活動自体を皆さんに周知できたのではないということも考えております。さらに、今年は「よさこいソーラン」のグループに1名の入会者があったという報告を受けておりますので、この事業自体の意義についてもよかったと考えております。

ページ変わりました、報告2の高齢者事業でございますが、「海老が作寿大学」の一番下の段、3月13日の人数の記載をお願いいたします。全体で49名、男2、女47でございます。

続きまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」でございます。一番下の3月7日の人数の記載をお願いいたします。全体で27名、男3、女24でございます。

ページ変わりました、報告の3、「いきいきサロン『花梨』」でございます。3月3日について、この日は一日雨模様ということもあり、また、とても寒い1桁台の気温だったということもあって、中止となっております。

最後に、複数事業でございます。「ファミリー卓球」の一番下、3月16日の人数の記載を

よろしくお願いいたします。全体で 25、男 13、女 12 名でございます。

ページ変わりました、報告の 4 でございます。下の「子育てプレイルーム」の一番下、3 月 3 日の人数の記載をお願いいたします。全体で 10 名、男 3、女 7 名でございます。先ほどの高齢者事業では寒いということで事業自体が中止になったのですが、こちらの子育てプレイルームについては、お母さんたちが車でお子さんを連れてくる参加者が多かったので、こちらの事業については何とか実施することができたというところでございます。

以上、主だったところでございますが、海老が作公民館の事業について報告いたしました。よろしくお願いいたします。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、小室公民館さん、お願いします。

○小室公民館長

小室公民館の 12 月 17 日から 3 月 31 日までの主な事業について報告いたします。

まず、青少年対象事業としまして、「ふなばしハッピーサタデー事業」をご覧のとおり開催いたしました。最終回の 3 月 15 日の巣立ちの会につきましては、男女の内訳は把握できませんでしたが、参加者数 500 名となりましたので、ご記入をお願いいたします。小室地区青少年健全育成連絡協議会のご尽力により開催し、小学校の校庭で、焼きそば・スープを配り、ゲームをし、小中学校を卒業する子供たちの門出を地域の皆様とともに祝い、大変盛況でした。

次に、成人対象として、「デジタルデバイド対策事業（はじめてのスマホ体験）」を実施しました。毎年実施しておりますが、どの講座も定員の半数以上の申し込みがあり、まだまだ小室町にお住まいの方のニーズが高いことから、来年度も開催いたします。

次のページ、「メルカリ教室」につきましては、実際の売り買いについて不安があるという方が多く参加しておりましたが、当日持ってきたものを出展するまで自分で体験でき、安心感が増したように思われました。

続いて、高齢者対象に行きまして、「小室寿大学」は、最終回の 3 月 13 日、映画鑑賞会の参加者数が 42 名、男性 13 名、女性 29 名となりましたので、ご記入をお願いいたします。毎回安定した参加者を集め、月に一度公民館に足を運び、ほかの方と交流するよい機会を提供できたかと思えます。

続きまして、報告 3 ページの「料理サロン」についてです。昨年に引き続き豊富地区社会福祉協議会と共催で実施しました。野菜をたくさん使った栄養バランスを考えたメニューで、参加者同士が楽しみながら調理方法を学んでおり、よい交流の場にもなっておりました。

複数対象事業に行きまして、「小室公民館本館家庭教育セミナー」についてです。今年度は 5 回の講座を実施し、多数の親子に参加いただき、アンケート結果も満足度の高いものとなりました。PTA や学校の先生とも意見交換をしながら実施してまいりましたので、来年度も

引き続き連携を図り開催していきます。

続いて、4 ページ、「小室地域ふれあいコンサート」です。申し込み開始日の午後には受付終了となるほど人気がありました。受付や誘導は実行委員の方に協力いただいたおかげでスムーズに開催できました。ハンカチを振ったり一緒に歌ったり非常に楽しいコンサートで、地域の皆さんに大変喜んでいただき、アンケートを見ても満足度の高いものでした。来年度もまた地域に喜ばれるような内容で開催したいと思います。

その下、小室児童ホームと共催で、「幼児クリスマス会」、「keke ちゃんの親子 de リラクゼーション」を開催しました。児童ホームと共催することにより親子の参加を促し、公民館への親近感を持ってもらうために有意義な機会でした。

5 ページ、「小室おもちゃの病院」の3月9日は、利用者数、依頼件数とも0件でしたので、ご記入をお願いいたします。先月修理のため預けていたおもちゃを取りに来られた方はいらっしゃいましたが、新規の依頼は残念ながらありませんでした。千葉県知事選挙の関係で日程が変更になったことも影響しているかと思いますが、引き続き利用者を増やすため周知に力を入れていきたいと考えております。

小室公民館の報告については以上でございます。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に八木が谷公民館さん、お願いします。

○八木が谷公民館長

八木が谷公民館の3月31日までの報告事業について報告いたします。

最初に、青少年対象の「ふなばしハッピーサタデー事業」ですが、3月8日の人数の記載をお願いいたします。人数は、男11、女9、合計20名でございます。評価のほうですけれども、ハッピーサタデー事業につきましては地域の団体の協力で行うことができ、特に8月の子どもまつりでは、大変大勢の子供たちが楽しそうに参加していました。今後も地域の団体と協力し、子供たちが豊かな体験ができるように実施していきたいと思います。

ページ変わって、報告3ページ、高齢者対象事業の「介護予防事業 生き生きと若々しく過ごすための教室」でございます。昨年度の内容から変更しまして、歌謡曲を使った体操やイントロクイズなどを行い、参加者も大変楽しそうに運動等を行っておりました。

続きまして、報告4ページ、健康づくり課共催の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」でございます。こちらは人数の記載をお願いいたします。3月12日、男7名、女36名、合計43名でございます。

続きまして、報告5ページ、「八木が谷寿大学」でございます。評価でございますが、本年度は歴史講座、防犯講座等のためになる講座や、体操や笑いヨガ等の体を動かす講座、また、落語や「みんなで歌いましょう」などの楽しむ講座など、様々な講座を開催し、地域の方のよい学習の場となっていると思っております。今後も魅力的な事業となるように実施してい

きたいと思っております。

続きまして、「いきいきサロン」でございます。生きがいつくり、仲間づくりのため英会話、健康体操、また、身近な学習などを行っております。こちらは地区社協さんと共催でございます。人数が少ないのがちょっとネックでございますが、仲間づくり、生きがいつくりとして参加してもらおうと思っております。また、今後につきましては、寿大学やその他の講座で周知等を図っていきたいと思っております。

続きまして、報告6ページ、「子育てサロン」でございます。こちらは人数の記載をお願いいたします。3月17日、男7名、女15名、合計22名でございます。

八木が谷公民館からは以上でございます。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、三咲公民館さん、お願いします。

○三咲公民館長

三咲公民館の12月17日から3月31日までの主な事業についてご報告いたします。

報告1をお願いいたします。青少年対象事業の「ふなばしハッピーサタデー事業」は、記載のとおり実施し、2月9日のこどもまつりでは、天気にも恵まれ、多くの子供たちが来館しました。各種団体の協力を得た様々な体験コーナー、模擬店が非常に好評で、大変にぎやかなこどもまつりとなりました。

報告2をお願いいたします。次に、成人対象事業の「サークル応援講座 はじめての絵手紙教室」は、参加者が今後のサークル加入につながるよう、できる限り地区内にお住まいの方の参加を求めるため、ちいき新聞に記事を掲載したところ、定員を超える応募があり、また出席率も非常に高い講座となりました。参加者のうち、今後も続けたいとサークル加入をご希望された方が数名いますので、事業目的を達成することができたと思っております。

次に、高齢者対象事業です。「三咲寿大学」は、1月に新春落語を、2月にハーブコンサートを、いずれも公開講座として実施しました。三咲寿大学は近年参加者が減少傾向にありますので、より多くの方に受講していただけるよう、講座内容、公開講座の回数などを検討していきたいと考えております。

報告3をお願いいたします。「ふなばしシルバーリハビリ体操教室 第2金曜コース」及び「ふなばしシルバーリハビリ体操教室 第3金曜コース」は記載のとおり実施し、第2金曜コースの3月14日開催の参加者数は、35名、男7名、女28名でした。

報告4をお願いいたします。「終活セミナー」は1回限りの講座として実施しましたので、相続について基本的な事項を学んでもらい、参加者数は18名、男6名、女12名でした。

次に、複数対象事業の「Winter concert in MISAKI」は、主に高根台公民館にて活動されている社会教育関係団体「ロマンツァマンドリーノ」によるマンドリンとギターによるコンサートを開催し、多くの方が来館し楽しみました。

報告5をお願いいたします。「国際交流講座」は、昨年と同様に、演者が素早く面を変える変面を通じ、中国の伝統文化から異文化交流を学ぶ講座を実施し、「素早く顔が変わる変面は本当にすごい、間近で見てもどうやって変えているか分からない」などの多くの感想があり、非常に好評な講座となりました。

報告6をお願いいたします。「卓球開放」、「図書コーナー運営事業」は記載のと通りの日程で実施し、残りの日程につきましても同様に実施していく予定です。

空欄となっている利用者数等の報告をいたします。順番が前後してしまって申し訳ございません。「おもちゃの病院」は、3月8日分の利用者は4名、男性のみ4名です。依頼件数は6件。「卓球開放」は、3月14日分まで参加者37名、男10名、女27名。「図書コーナー運営事業」は、3月12日分までの利用者は26名、貸出冊数は42冊となります。

三咲公民館の事業報告は以上となります。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に松が丘公民館さん、お願いします。

○松が丘公民館長

松が丘公民館の12月17日から3月31日までの主な事業についてご報告させていただきます。

初めに、報告1ページ、青少年対象の「ふなばしハッピーサタデー事業」についてです。12月の書き初めでは、古和釜高校の書道部に講師を依頼し、高校生が小学生に一生懸命丁寧に指導していた様子が大変印象的でした。制作した作品は1月末まで公民館ロビーに掲出しましたが、作品を見に来る保護者の姿や立ち止まって鑑賞する利用者など、地域の集いの場ともなる公民館で子供たちの成果発表の場を設けられたことは、意義深い試みであったと評価しております。

次に、2月の「こどもまつり」についてです。開催日は天候にも恵まれ、暖かい陽気の中、子供たちのダンスの発表や、連合町会、PTA、地区社協、スポ推、子ども会連絡協議会、社協団体、多くのボランティアの皆さんにご協力いただき、盛況に開催することができました。今回は当館のこどもまつりでは消防団の方にも初めて参加協力いただき、子供たちが消防服を試着して乗車体験できるコーナーなどをつくっていただき、楽しみながら安全意識を高められる機会となりました。

最後に、3月15日の「スポーツ雪合戦」、こちらの参加人数を申し上げます。全体で33名、男性17名、女性16名でした。ご記入よろしくお願いいたします。

続きまして、次のページ、報告2ページです。成人対象の「松が丘粋生き講座～素敵に生きよう～今日から明日へ～」になります。この講座は実行委員、生涯学習コーディネーターの皆さんと企画運営を行いました。課題としては、全3回の講座の中で、学習、体験、鑑賞と趣向方法に変化を持たせてみましたが、受講者の興味があるもので各回の参加者に変動が

ございました。講座のテーマと実施内容については改めて検討してまいりたいと考えております。

次のページ、報告4の上段、「健康ウォーキング講座『木戸川健康ウォーク』」は、終了後、報告させていただきます。

報告4ページ中段、「高齢者仲間づくり支援事業 ふれあいサロン」です。3月13日の参加人数を申し上げます。参加人数24名、男性2名、女性22名です。ご記入をお願いします。

次に、下段の「松が丘寿大学」です。最終回の3月13日は、全体で84名、男性15名、女性69名です。ご記入をお願いいたします。こちらの年間を通じた寿大学については、企画委員の皆さんとは来年度のプログラムの検討や今後の運営方法、修了式のあり方などについても様々なアドバイスをいただきました。今後も皆様方と協働しながらチームワークよく事業を運営してまいりたいと考えております。

続いて、報告5ページです。上段の「シルバー男の料理教室」、3月の内容、参加人数についてです。調理内容は、ちらしずし、小松菜のくるみ和え、菜の花のすまし汁となっております。参加者数は男性のみ9名です。ご記入をお願いいたします。参加者の中には、単身になられた方で、この講座を月1回、皆様方とわいわい調理することをとても楽しみにされている方や、奥様にぜひ、と受講を勧められた方など様々でしたが、この講座を地域の高齢者の方にもっと知っていただけるとよいかと、公民館としては改めて実感しているところです。

次に、報告6ページに移ります。上段の「シルバーリハビリ体操：特別コース」です。この講座は、ふなばしシルバーリハビリ体操で「もう少し体を動かしたい」という受講者の声を受け、今年度は実施回数を年4回に追加し、内容を変更して、スポーツ推進委員の指導のもと実施いたしました。この審議会でもこれまでもご意見を頂戴しておりましたが、来年度はふなばしシルバーリハビリ体操との関連性を強調しながら、実施形態や実施日程を定例化し、名称を覚えやすく変更して実施することで改善を図ってまいりたいと考えております。

続いて、下段の複数対象、「子育て支援事業 おひさま」です。こちら3月11日の参加人数を申し上げます。全体で12名、男性5名、女性7名です。ご記入をお願いいたします。

次に、報告7ページの下段、「古和釜アートミュージアム」です。こちらは近隣の古和釜高校の書道部、写真部からの作品出品と古和釜中の生徒による美術授業の成果品の展示を、こどもまつりの開催に合わせて2月の1か月間で行いました。高校生は部活動の中で作品の掲出作業にも携わってくれました。子供たちは、地域の多くの方に自分の作品を見てもらえることをとても喜んでいて、励みになっていたということでした。今後も公民館での子供たちの作品展示を通じて、子供の活動のモチベーションにもつながるよう、学校との連携を大切にしていきたいと思います。

松が丘公民館からは以上です。

○朝隈委員長

ありがとうございました。次に、坪井公民館さん、お願いします。

○坪井公民館長

坪井公民館の事業報告をご説明させていただきます。

まず、青少年事業の「ふなばしハッピーサタデー事業」ですが、3月1日をもって全日程を終了いたしました。1年を通じて坪井地区社会福祉協議会、坪井地区スポーツ推進委員会、伝えよう船橋の会などの地域団体のご協力をいただき、子供たちに寄り添う内容で実施できたものと考えております。

続きまして、「科学って楽しいな」ですが、普段はなかなか訪れる機会がない日本大学内のミュージアムを訪問して、展示品の解説を聞きながら見学し、続くワークショップでは親子で楽しみながら学習し、学びとともに親睦を深めることもできたと考えております。

続きまして、次ページ報告2をご覧ください。成人事業の「多文化共生『異文化コミュニケーション講座』」でございますが、ご覧のとおり実施いたしました。

次に、「坪井の歴史講座」でございますが、1回目は明日19日に実施予定で、坪井地区にまつわる歴史について座学で学ぶ予定でございます。2回目は21日に地域の散策を実施する予定です。

次の「有償ボランティア講座」でございますが、社会で再活動するきっかけづくりといたしまして、リカレント教育の一助として実施いたしました。地域住民を対象に福祉に関わる有償ボランティアの活動内容、登録方法などを紹介し、学習していただきました。

続きまして報告3をご覧ください。木育講座でございますが、1回目は様々な森の種類や特性等について座学で学び、木の役割や人間は木とどのように共存していくべきかについて考えました。2回目は廃材等を使ったペンダントやストラップづくりに挑戦いたしました。木について様々なことを学ぶとともに廃材の有効活用についても体験し、新たな発見があったものと感じております。

次の高齢者学級、「坪井みのり学級」でございますが、3月14日（金）の参加者数のご記入をお願い申し上げます。男10、女42、計52名でございました。ピアニストの加賀厚子さんをお招きしてコンサートを実施いたしました。3月で最終回となり、全10回の日程を終了いたしました。

続きまして、報告4をご覧ください。「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は、ご覧のとおりでございます。

続きまして、「新春コンサート」でございますが、ギタリストの橋爪晋平さんとサックス奏者の山上祐子さんを招き、「ギター&サックス新春コンサート～名曲コラボレーション～」を実施いたしました。選曲もよく素敵なコンサートだったと考えております。

次のページ、子育て支援事業『絵本LIVE』、「子育て支援事業『ハープコンサート』」、「おはなしいろえんぴつ」、「おもちゃの病院」につきましては、ご覧のとおりでございます。

坪井公民館の事業報告は以上でございます。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

それでは、議事（１）につきまして、ご意見、ご質問等、何かございますでしょうか。

前田さん、お願いします。

○前田委員

質問ですけれども、三咲公民館のほうで、報告１の一番下にあります「100年時代を生き抜くリカレント～新しい可能性に気づこう～」ということで、ワークシートを用いたグループワーク、これは当日２名参加されたようですけれども、年代がどの辺りの年齢の方かということと、これをやった結果の満足度といいたいでしょうか、ご本人の満足度はどんなものかというのが分かりましたらお教え願いたいです。

○三咲公民館長

こちらですけれども、男性が60代の方１名と女性が50代の方１名です。本来定員も少ない中でやる予定で、皆さんに気づいていただいて、自分で方向性を持っていただくという目的でやりました。

実際これは私たちのほうでも参加人数が少なくなるなど予想するテーマだったのですけれども、それを上回るほど参加者が少なかったため、どうなるかと思いましたが、実際マンツーマンまではいかないですけれども、そういう形での語り合いになったので、参加された方は非常に満足いく結果になって、講師の方も参加人数が少なかったですけれども、本来の目的は達したということでした。

うちのほうでは、やってみてある一定の効果は出たのですけれども、リカレント教育の中でこのテーマをしたのはちょっと難しかったかなということもありますので、次回やる時には、もう少しテーマを変えて、もっと参加しやすい形でやっていきたいということの反省点が残った講座となりました。

○前田委員

ありがとうございました。確かに自分のことをじっくり考えてみるいい機会だとは思いますが、ですけれども、ぱっと見た限りでは、本当に難しいなという気がしました。ありがとうございました。

○朝隈委員長

このリカレントという言葉が多分一般的によく理解されていないのではないかなと。すごくいいことなので、館長が今言ったように募集の方法、内容、そういうものをもうちょっと分かりやすくしたほうがいいのかなと私も思います。

リカレントっていろんな意味を持っているらしくて、私が理解しているのとまたちょっと違う部分があったり、幅広いことがあるような気がします。あまり馴染みがない言葉ではないかなと思っているので、募集方法にもうちょっと中身を加えたら、もしかして前田さんみたいに興味を持ってくれる方がいるのかなと思いました。リカレントという言葉が最近この中にも出てきますので、どうかと私も思いました。すみません、余計なことですが。

○三咲公民館長

ありがとうございます。

○朝隈委員長

ほかにございませんでしょうか。

○齋藤委員

八木が谷公民館長さん、お願いいたします。報告2の「八木が谷公民館本館家庭教育セミナー」、今までは4校、中学校と小学校の方たちの運営だったと思うのですが、今回人数も人数ですけども、なぜ——学校が近くですし、また、公民館のボランティアに中学生なども出ております。せっかく学校のこういうカリキュラムもあったのに、ちょっともったいないなと思いました。やっぱり人数的だとか、運営する人がいないとか、そういうことなのでしょうか。

○八木が谷公民館長

委員おっしゃったように本館家庭教育セミナー、昨年度までは4校、中学校1校、小学校3校で行っておりました。今年度は、担当校PTAのほうの負担が大きくて、継続して一緒に共催するのが難しいというご意見をいただきましたので、本年度から本館家庭教育セミナーとして行っております。ただ、募集につきましては、先ほどの4校、今年は小学生の保護者対象の講座でしたけれども、3校の保護者様宛てに通知を差し上げたのですけれども、応募がちょっと今年は少なかったと。来年度に内容を含めてまた再検討しながら家庭教育セミナーを運営していきたいと思っております。

○齋藤委員

どこの公民館さんもやっぱり学校を交えて運営しているみたいなところがありますので、ぜひ八木が谷公民館もそのような方向へ向けていただければと感じております。

○八木が谷公民館長

ありがとうございます。

○朝隈委員長

もったいないですね。中身はすごくよかったのではないかと私も思いますけど、やっぱり広告の仕方が悪い、と言ったらいけない、ごめんなさいね。なんでこんないいのに来てくれないのかなと思いますね。

ほかに何かございませんでしょうか。

坪井公民館さんのこれはすごくいいなと思いました。子育て支援事業って、ほかの館もなかなか人が集まらないかなと思いますけれども、坪井さんの報告5の上に「子育て支援事業『絵本 LIVE』」というのがありますね。ピアノに合わせて絵本の読み聞かせということですが、これは飽きも来なくてきっと楽しくやれるのではないかなと思って、すごくいいなと思いました。初めてですか、この挑戦は。

○坪井公民館長

坪井でやるのは初めてです。先生につきましては、児童ホームの職員が探してきたと言うとちょっと語弊があるのですが、お話を付けてまいりまして、それでお願ひしますという形でやったものですけれども。

○朝隈委員長

皆さん楽しんでくれましたでしょ。

○坪井公民館長

楽しんではいただけたと思います。

○朝隈委員長

意外と子育てってなかなか人数が集まらないから、こういうのはいいなとちょっと思いました。ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか。

他にご意見、ご質問ないようであれば、議事（１）につきまして承認するものとしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○朝隈委員長

異議なしということで、議事（１）「事業報告（12月17日から3月31日）につきまして、承認いたします。ありがとうございました。

次に、議事（２）と（３）は一緒にやらせていただきます。議事（２）「令和7年度各公民館『地域の状況、地域の課題、重点目標』（案）」についてですが、議事（３）「令和7年度各公民館事業計画（案）」についても併せて各公民館長からご説明願ひします。なお、ご意見、ご質問等につきましては8公民館の説明終了後に受けたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、北部公民館さんからよろしくお願ひします。

○北部公民館長

北部公民館です。令和7年度北部公民館「地域の状況、課題、重点目標」（案）、それと次ページの次年度の事業計画、こちらを併せて説明してまいります。

まず、地域の状況のページのほうからご覧ください。北部公民館の地域の状況ですが、旧豊富村にある農業を中心とした自然豊かな地域でありまして、近くにはアンデルセン公園、青少年キャンプ場などがありまして、市民の憩いの場となっております。公共交通機関が不便な地域であることから、流入人口が少なく少子高齢化が進んでおりまして、令和6年4月1日現在の高齢者が37%以上で、市内全体の24%と比較すると13ポイント高くなっております。公民館別では2番目の高さとなっております。逆に、管区内の小中学校は1校ずつで、15歳未満の人口は378人となりまして、北部地区の人口比率は7%となります。市内全体の12%と比較して5ポイント低く、公民館別では最下位となっております。

地域の課題としましては、（１）から（４）の4点が挙げられます。主な原因としましては、

人口の減少によるものと考えております。

(1) では、人口比率でお話ししたとおり児童数が少ないことから、青少年向け事業数を増やすことが難しいと考えられます。

(2)、65 歳以上の心配事として、高齢者の孤立、地域活動における後継者不足の意見が多くあります。こちらにつきましては、コロナ禍での外出機会の減少、それに伴うサークル活動の停滞、会員の減少とも考えられております。

先にこちらで挙げました高齢者の孤立などに関係しまして、学びの成果をほかに生かせる機会が少ないということが(3)の課題として挙げてあります。

また、(4)では、高齢者が多い地区であることから、インターネットに関する学習を望む声が少なく、デジタルデバインド対策が必要となります。

地域の課題に基づきまして重点目標として、(1)から(5)を挙げさせていただきました。

(1)では、近隣の学校などから地域交流を望む声が多く寄せられていることもありまして、地域団体と連携協力して特色ある公民館事業や地域の行事を実施してまいります。

(2) 高齢者の社会参加と健康維持の増進につきましては、公運審の会議の中でも委員様のほうからフレイル予防として積極的に事業を実施してほしいという声をいただいておりますので、次年度におきましても、軽運動、交流機会の創出を図ってまいります。

(3) 地域の方に楽しんでもらえる事業や地域の特色を生かした事業を実施いたします。また、情報提供の手段としまして、広報、館報による PR 活動の充実に努めることで、地域の活性化の一助となるよう努めてまいります。

(4) デジタルデバインド対策事業の拡充につきましては、生活する上で欠かせないアイテムとしてスマートフォンがあります。こちらの実用的アプリの使用方法などを実施してまいりたいと考えております。

(5) については、地域課題の解決につながる事業の実施を考えております。

続きまして、具体的な事業です。次ページの公民館の事業計画、こちらの表に基づいて説明をしてまいります。

まず、表の構成としまして、番号のところに丸がついている事業があるかと思いますが、こちらは来年度の新規の事業という形になっております。ただ、4番と14番につきましては、既に実施している事業となりますので、新規の事業とはなりません。申し訳ございませんでした。

まず、先に挙げました重点目標の(1)の該当事業としましては、1番の「読書感想文教室」から12番の「朗読による、終戦80年記念『平和について』」、飛びまして、14番、15番の事業が該当してまいります。こちらの事業については、公民館利用の社会教育関係団体、生涯学習コーディネーター、また、学校と連携協力して事業を実施いたします。

(2)の高齢者向けの事業についてですが、下段の21番の「料理サロン」から次ページの26番の「千葉ジェッツシニアダンス教室」になります。こちらについては、豊富地区社協、

健康づくり課と共催、また、包括連携を結んでいる千葉ジェッツふなばしとの事業を実施いたします。

(3) についてですが、こちらは 27 番から 29 番がサークル支援事業、また、30 番から 39 番が地域の方々が楽しめる事業となっております。情報提供については、40 番「とよとみだよりの発行」、また、こちらに記載はございませんが、Facebook への投稿にも力を入れて広報活動に力を入れてまいりたいと思います。

(4) のデジタルデバイド事業、こちらは、前のページに戻ってもらって申し訳ございませんが、16 番から 18 番の 3 事業を企画しております。なお、事業の講師をソフトバンクという形にしておりますが、計画の段階では J:COM さんが有料という話もあったので、一旦ソフトバンクにさせていただいたのですが、実際に事業が始まる段階になりましたら、職員のほうで協力していただく企業とは調整してまいりたいと考えております。

最後になりますが、北部公民館は基幹館ということになりまして、地区館と協力して広域事業を計画しております。そちらが 13 番の北部地区の合同事業です。今年度は北部公民館で事業を実施しまして、昨年度は二和公民館のほうで事業を実施しております。多くの参加者がありまして、好評を博した事業となっております。

簡単ではございますが、北部公民館から以上となります。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、二和公民館さん、お願いします。

○二和公民館長

二和公民館です。まず最初に、「地域の状況、課題、重点目標（案）」をご覧ください。

1 番の地域の状況です。二和公民館は新京成線の二和向台駅前に位置し、駅周辺を中心におおむね住宅化されていますが、地区内には農地も点在しています。北図書館と二和出張所との複合施設となっており、管区内には小学校が三咲小と二和小と 2 校、高等学校が船橋二和高校の 1 校があり、二和東と西の令和 6 年 4 月 1 日現在の世帯数は 7,523 世帯、人口は 1 万 7,001 人で、65 歳以上の人口比率は 25%であり、市の平均である 24%を上回っています。

次の 2 番の地域の課題としましては、利用団体の高齢化や固定化の進行で社会教育関係団体が減少傾向にあります。これによって地域の人々との交流が疎遠になる、また、地域コミュニティの弱体化にも関連することから、公民館が人と人をつなぐ役割として既存団体の支援や新規団体の育成を図る必要性があります。また、高齢者に対し、ひきこもりや孤立の防止対策、生きがいづくりや健康づくりに関する学習支援、そして災害時等の情報収集に係るデジタルデバイド対策としてインターネットやパソコンといった情報通信機器によるコミュニケーションを図る生活サポートも必要であると考えます。さらに、災害時における地域コミュニティ活動の重要性が指摘される中、核家族世帯の増加をはじめ、働き方の変化やライフスタイルの多様化などにより、ご近所付き合いなど従来の地縁的なコミュニティの希薄化

が懸念されております。

最後は、3番目の重点目標です。先述しました2番の地域の課題を踏まえて、(1)から(3)まで目標を挙げています。1つ目が、社会教育関係団体が減少しているため、既存団体の支援に関すること。2点目が、高齢化率が高い地域であり、高齢者のひきこもりや孤立防止、さらには健康づくりに関すること。3番目が、地域のコミュニティの場としての利用促進について。4番が、音響・照明等の機能を有する講堂を活用し、主催事業の充実を図る事業という形で目標を挙げさせていただいております。

具体的な内容につきましては、この後の事業計画でご説明いたします。地域の状況、課題等の説明につきましては、簡単ではございますが以上となります。

引き続きまして、次のページの令和7年度二和公民館の事業計画(案)になります。令和7年度の二和公民館の重点目標は、さきにご説明した地域の課題に沿った3点と二和公民館の特徴である小ホール的利用に関する目標の1点、計4点となります。事業計画案はこれらを踏まえてご説明いたします。

まず、1点目、社会教育関係団体が減少しているため既存団体の支援につなげるため、昨年度に引き続き、社会教育関係団体の二和そばの会を講師に招いた事業を計画しました。こちらの計画シートの14番、成人一般を対象としたそば打ち体験と、7年度より新規事業として実施します15番の小学生親子を対象としたそば打ち体験です。さらに活動の成果を発表する機会として、文化祭以外にサークルの体験や見学会の開催といった16番の「サークル活動支援事業」を計画しています。

2点目の、高齢化率が高い地域であり、高齢者のひきこもりや孤立防止、さらには健康づくりにつなげるための事業は、17番から21番となります。

二和シルバーリハビリ体操は引き続き月2回の計画といたしました。

20番の「健康講座」は、北部保健センターとの共催による事業で今年度より実施をしております。この健康講座は、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画の中の高齢者基本調査及びひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯調査の結果で、二和地区においてうつリスクが高くなっているとの結果が出ていることから、北部保健センターとの話し合いにより、不安や緊張を取り除き心身の安定を図るために、リラクゼーションの方法を学ぶ高齢者のうつ病予防をテーマとした事業になっております。

「デジタルデバイド対策事業」は22番です。ソフトバンクを講師とした初心者向けの体験講座を、さきの中央公民館からの通知に対し希望を出しているところでございます。

23番の「足裏リフレクソロジー講座」と24番の「北部市民ウォーク」は、高齢者に限った事業ではないのですが、こちらにも参加いただいて、人生100年時代を末永く生き生きと暮らすため、健康づくりへの意識を高めてもらえればと思います。

また、26番の「ライフアップ講座A」は、リカレント教育として脳トレをテーマに脳の活性化について全2回、内容は現在「大人の塗り絵」または「健康麻雀」のどちらかで調整し

ています。

3点目の地域のコミュニティの場としての利用促進については、25番から28番です。目標1点目の新規サークル化の育成と併せてコミュニティの場として活用いただけたらと考えております。

29番の「防災講座」、それと30番の「二和のまちづくり推進事業」では、二和地区自治会連合会と連携して、有事に各家庭でできる備えや自治会等の備蓄品について確認する機会にしてもらえたらと考えます。

4点目の音響・照明等の機能を有する講堂を活用し、主催事業の充実を図る事業としましては、31番の「二和劇場」です。ボランティアの実行委員会との協働で「地域ふれあいコンサート」を含め5回実施する予定です。32番につきましても令和6年度より「二和名画座」として年6回、社会教育課で保有するDVD教材を活用しての映画会を実施しています。また小ホール的利用による各種団体の発表会なども円滑に開催できるようアドバイスをしていきたいと考えます。

その他といたしまして、多様な主体との連携・協働ですが、31番の「二和劇場」においては、企画運営を地域ボランティアの二和劇場ボランティア実行委員会が、34番の「二和寿大学」では、生涯学習コーディネーターに講座の提案や講師の紹介、毎回の設営及び受付、講座終了後の後片付けといった協力を、戻りますが、1番の「ふなばしハッピーサタデー事業」での軽スポーツ事業や24番の「市民ウオーク」では、船橋市スポーツと健康を推進する会の企画運営による開催といった従来どおりの形で計画しています。

最後に、共生社会に関しましては、毎週火曜日に集会室において国際交流協会主催による「日本語教室」が開催されており、毎回10人以上の受講生が参加しているほか、新規事業として国際交流員を講師に招き、35番の「二和で学ぶベトナム」を座学と料理体験の全2回で計画しました。

説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、海老が作公民館さん、お願いします。

○海老が作公民館長

令和7年度海老が作公民館、地域の状況、地域の課題、重点目標について概略ではございますがご説明いたします。

地域の状況でございますが、管区となっております大穴地区は、昭和45年頃の開発により多くの住民の方が流入し、従来からの農地と住宅地が混在する地域でございます。また、50年以上前に開発されたことから、当時からお住まいの住民の方は80歳を超える方が多く、市内でも高齢化が進んでいる地域でございます。ただ、地域としての連帯は強く、連合町会を中心とした町会・自治会や大穴スポーツクラブ等の地域活動がとても盛んに行われている地

域であります。

地域課題でございますが、1として、高齢化率が市内でも高い地域であり、高齢者の外出や交流の機会が減少している傾向にあります。このため介護予防の促進、それから高齢者孤立の予防を重点として置く事業を行ってまいりたいと考えております。また、デジタルデバイス対策としても、情報弱者という形にならないように、事業としてその辺も重点の目標としてやっていきたいと考えております。

2番として、各利用団体の会員や地域関係団体の役員の高齢化が顕著になっているということもございますので、活動の継続が困難にならないように手助けをしていきたいと考えております。

その他の対策としては、サークル活動を支援するための事業、また、新たな会員の獲得に向けた事業などを目標として行ってまいりたいと考えております。

3番として、周辺に青少年や子育て世代が気軽に集える場所が少ないということがございますので、青少年同士、子育て世代の親同士の地域での交流の場を創出していくことを目標とするようにしてございます。また、このためには、青少年育成団体や学校、児童ホーム等と協力をしながら、青少年の活動の場を確保するとともに、創作活動や新たな仲間づくり、遊ぶ場所などを確保できるような事業を目標としていきたいと思っております。

また、全体としては市民協働による公民館活動を推進していくということで、市民ニーズを取り入れた事業を行っていくということも目標として考えております。

具体的な事業でございます。次の様式5のほうをご覧ください。この中で新しい事業でございますが、まず1ページの一番下の16番「本館家庭教育セミナー」でございます。本館としての事業は海老が作としては新規ということになります。令和5年までについては、大穴小学校のPTAと協働で実施してまいりましたが、PTAからの協力が難しいというところがございます。6年度は公民館のほうで引き受け、家庭教育セミナーを本館として実施いたしました。単独実施となったことから、実施対象を従来の大穴小学校の保護者に加え、大穴北小学校の保護者などを中心に募集をしてまいりました。また、従来、海老が作公民館で実施していなかった夜間の事業ということも取り入れまして開催をいたしました。6年度既に実施し、結果が出ておりまして、内容としてはなかなか好評で、時間帯もございましたが、近隣のちょっと若めの参加者に参加いただいたりということもございますので、7年度についてはこの線の夜間実施で、もう少し内容を考慮した上で実施してまいりたいと考えております。

また、2ページ目の一番下の32番「空き部屋開放事業」でございます。こちらは、現在、高根台公民館等を中心に行っている事業でございますが、令和7年度からは全市的に事業を実施していくということですので、海老が作公民館でも新規事業として掲載したものでございます。今後の詳しい事業内容については、全市的ということもありますので、通知があるものと考えております。

新規事業以外でございます。市のアンケート等で、地域のひとり暮らしの高齢者の方の生きがいがない、または趣味がないといった回答が多く寄せられたということもありますので、その対策としては、1 ページ目の中ほどにございます7 番「市民企画『学びの糸口～心楽暮（こらぼ）～』」です。4 回の講座で、制作、散策、座学、それとレクチャーコンサートなどを行い、また、その下の8 番「市民企画『元気になる生涯学習講座』」は、2 回の歴史講座でございますが、座学をした後に実際に学んだ場所に行って館外での散策をしましょうという事業を実施いたします。毎年実施する事業でございますが、それぞれの実施形態は変えずに中身だけを少しずつバージョンアップして実施し、学び直しや趣味の発見につながればと考えております。

また、大穴地区社会福祉協議会のご協力により実施いたします3 行上の5 番「いきいきサロン『花梨』」は、かつての井戸端会議のような雰囲気を持った事業ということで、地域の方たちがちょっと寄ってみようかと、「地域のつながり」につながることを考えて取り組んでまいります。

高齢者のデジタルデバインド対策といたしましては、2 ページ目の中ほど、24 番「デジタルデバインド対策講座」のソフトバンクの分でございます。こちらは従来と同じように同一機種による基本講座で、本当に初心者の方のための講座を行います。加えて、その下の25 番、26 番では、参加者のご自分のスマートフォンを使った講座を行うということでございます。これは参加者の要望が非常に多いということもありまして、この2 つを加え3 つの講座でデジタルデバインド対策をしていきたいと考えております。

また、社会教育関係団体の減少に対しての対策でございますが、こちらは3 段下にございます29 番「サークル一日体験講座」を開催いたしまして、その対策に当たりたいと思っております。また、地域のニーズを反映するということで事業を組んでいきたいと考えております。

申し訳ございません、もう一度1 ページ目に戻っていただきたいと思います。4 番「海老が作寿大学」は、生涯学習コーディネーターの皆さんのご協力によって実施してまいります。また、その1 ページ目の下から5 番目、11 番「ふなばしハッピーサタデー事業」については、地域の青少年団体の方のご協力を得て、その事業に実行委員という形で参加をしていただいで実施をしてまいっております。

次に、2 ページ目になります。7 段目の22 番「七夕コンサート」、23 番「クリスマスコンサート」については、地域の住民からなるコンサート実行委員に協力をいただきまして実施している事業でございます。今後も地域住民のニーズを見ながら事業に反映させていきたいと考えております。

以上、主要な事業についてのご説明でありました。よろしくお願いいたします。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

続きまして、小室公民館さん、お願いします。

○小室公民館長

令和7年度の小室公民館の地域の状況、課題、重点目標について説明いたします。

地域の状況は大きく変わっておりません。千葉ニュータウンの一部に位置しているため、印西市や白井市との関わりもあり、サークルや講座の参加者として、その方面から来られる方もあるようです。

地域の課題として、商業施設などが少ないことが挙げられていますが、ショッピングセンターや友人と会話を楽しめるようなカフェもほとんどなく、自宅以外で地域での居場所が少ないというのが実情です。そのため多くの方が気軽に公民館に足を運んでもらえるような事業の企画を心がけております。また、小室地域は、環境や都心へのアクセスのよさを求めて、子育て世代が増加していることが特徴です。子供と高齢者の割合が市の全体より高いこともあり、その世代を対象とした事業に力を入れたいと考えております。

重点目標としまして、地域の課題を踏まえ4つの目標を立てました。それに基づきまして、令和7年度の事業計画案を説明いたします。

事業目標の1としまして、青少年教育の充実を図るため、各種団体と連携して体験学習等、健全育成を図るという目標を掲げております。この目標に対しまして、事業計画（案）をご覧ください。1番の「ふなばしハッピーサタデー事業」の中で、様々な体験の機会を設けたいと考えております。一例を挙げますと、船橋市レクリエーション協会に依頼して小室公園でネイチャーゲームを予定しているほか、船橋市ユニバーサルスポーツ協会に依頼し、ミニ卓球バレーなど誰でも楽しめるようなスポーツ体験を予定しております。

続きまして、2番「こむろスタディスペース」、こちらは来年度から予約のない部屋を勉強スペースとして開放する予定です。また、4番の「小室こどもまつり」では、青少年健全育成連絡協議会、生涯学習コーディネーターなどの団体に協力依頼するほか、当日のゲームのお手伝いをしてもらうよう小室中学校の生徒にボランティア募集をしたいと考えております。

重点目標に戻りまして、重点目標の2番では、地域住民の様々なニーズを捉え、多様な学習機会の提供に努めるという目標を掲げております。

この目標に対しまして、事業計画の中では、まず、6番「朗読音楽劇場『銀河鉄道の夜』」を予定しております。また、7番から9番までは、「大人の教養講座」と題しまして、3つ企画しております。光源氏、源氏物語について学ぶ古典文学講座、実際の日本刀を見ながら学ぶ日本刀の講座、それからレコードで音楽を楽しみながらジャズの歴史や文化的な背景などを学ぶジャズ入門講座です。こちらの3つは、豊かに生きるための教養講座としてリカレント教育の要素があると考えております。

10番から13番までは、「個性・自分を磨くための講座」と題しまして、4つ講座を企画しています。パーソナルカラー、フェイシャルヨガ、セルフネイルケア、レジンアクセサリ講座です。講座を受講し、自分に向いていると、仕事につながるきっかけとなればと考えて

おり、こちらもありカレント教育の要素があると考えています。

重点目標の3、高齢者の交流の場と健康増進を図る学習機会の提供に努める。また、デジタルデバйд対策事業を促進するという目標を掲げておりますが、この目標に対しましては、15番から17番の3つの「デジタルデバйд対策事業」の実施を予定しています。また、18番の「小室寿大学」は、健康体操や音楽鑑賞、また、みんなで歌を歌ったりと、高齢者の孤立解消のためにも、喜んでいただけるような内容で実施していきたいと考えております。

重点目標の4、子育て世代が地域と触れ合い、地域に愛着が持てるようにという目標を掲げておりますが、この目標に対しましては、22番の「家庭教育セミナー」で小室小中学校のPTAと連携しまして、「キャンドルでのかき氷づくり」、「ナースのお仕事講座」、「星空観望会」、「アイシングクッキー作り」の4つの事業の実施を予定しております。また、23番、24番、「親子でリトミック」、「クリスマス会 バルーンショー」を児童ホームと共催予定です。また、26番、27番に記載の「小室文化まつり」、「小室地域ふれあいコンサート」は、地域の方に実行委員としてご協力いただくなど、地域と連携を図り、地域の交流を深めていきたいと考えております。

7年度の事業計画の概要は以上となります。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、八木が谷公民館さん、お願いします。

○八木が谷公民館長

八木が谷公民館の地域の状況、課題等についてご説明させていただきます。

地域の状況としましては、八木が谷公民館は市の北西部に位置し、白井市や鎌ヶ谷市と隣接しています。元は農村地帯でしたが昭和40年代以降、急速に人口が急増し、現在は古くからの集落の中心部を除いてほぼ全域が宅地化され、住宅が密集した地域となっております。対象人口が高齢化率36%と市内でも高齢化率が高い地域となっております。また、公共交通不便地域解消事業により平成25年から小型バスが運行するなど、買物困難地域となっているような地域でもございます。

このようなことから地域の課題とさせていただきました。(1)としまして、管区内の児童人口が減少しているということがやはり挙げられます。(2)としましては、先ほど言いました高齢化率36%と、この地域も高齢化となっております。(3)としましては、公共交通機関が限られており、買物困難地域でもあるなど、高齢者にとっては外出しづらい地域となっております。(4)としましては、核家族化する家庭環境の変化により、家庭教育が困難となっている地域でございます。(5)としましては、サークル・公民館事業とも、成人の年代の利用者が少ない。また、高齢化によるサークル活動の衰退が懸念されているため、公民館に来やすい事業等を図る必要があるというのが課題となっております。

そういう課題に基づき重点目標を考えました。

重点目標の（１）としましては、地域交流のほか、子供同士や世代間の交流が生まれるような機会を提供することを考えました。事業計画のほうも一緒に説明いたします。様式横の事業計画、番号では１番から７番を対象としております。こちらですと、特に３番の「りさ育る（ガラケー分解）」や「空き部屋開放事業」については新規事業とさせていただいております。

重点目標（２）、高齢期を豊かに生きるために、健康維持や増進のための学習機会を提供することを考えました。横長の事業計画のほうですけれども、裏面の２ページ目、No. 24 から No. 32 にございます。No. 27 の「シニアリトミック」は新規事業でございます。子供のリトミックは行われていますけれども、大人のリトミックとしまして音楽使ったようなリトミックを計画しております。また、高齢者を対象とする寿大学や健康セミナーも引き続き実施を予定しております。

重点目標（３）としまして、交通機関が限られることや買物困難地域であることから、ネットショッピングを含むデジタルデバйд対策を推進することを考えました。事業計画ですと、１ページ目の No. 12 から No. 15 の「デジタルデバйд対策事業」の実施を予定しております。

重点目標の（４）ですけれども、家庭教育の認知が７割と高いものの「自信がない」ということがありますため、家庭教育の推進をするために計画を考えました。事業計画のナンバーですと No. 8 から No. 11 までの「本館家庭教育セミナー」から「就学時健診等における子育て学習」でございます。

続きまして、重点目標の（５）となりますが、健康関連や趣味の幅が広がるような事業実施を考えました。事業計画としましては、１ページ目の No. 16 から、No. 20 を除いた No. 21 までになります。新規事業としましては、No. 16 にあります「ベトナム文化紹介講座」でございます。こちらにつきましては、６年度に実施しました中国文化紹介講座の内容を変更した講座となっております。また、No. 21 につきましては「有償ボランティア講座」を予定しています。No. 23 「しめ縄プロジェクト」につきましても、成人の方を対象にしたお正月講座として、しめ縄飾りを考えました。

続きまして、重点目標（６）、サークルの高齢化を防ぐための講座としまして、事業計画ですと No. 20 「サークル体験・見学会」を計画しました。サークルの活性化につきましても、八木が谷公民館は高齢化のサークルさんが多いので、これについても活発にやっていきたいと思っております。

簡単ですが以上になります。

○朝隈委員長

こちらの説明はこれで終わりですか。

○八木が谷公民館長

はい。簡単ですけど。

○朝隈委員長

一緒にやってくださったということで。分かりました。ありがとうございます。

次に、三咲公民館さん、お願いします。

○三咲公民館長

三咲公民館の地域の状況、地域の課題、重点目標について説明させていただきます。

まず、地域の状況ですが、三咲地区の人口は緩やかですが上昇傾向にあります。三咲公民館周辺の畑なども宅地が変わっており、少しずつですが、新しく家を建てて居住する比較的若い世代の方が増えてきているようです。三咲地区の2028年（令和10年）の推定高齢化率は25%で、船橋の平均を上回っていますが、他の北部地区の高齢化率と比べると比較的低い水準で維持できるという予測になっております。

次に、地域の課題ですが、（1）閉じこもり者・認知症リスクの者・物忘れの多い者の割合が高く、また、30分以上歩く者の割合が低く、運動する機会が減少している高齢者が多い。

（2）今申し上げた状況が新型コロナウイルス感染症の影響により運動不足の傾向が進んでおり、認知症リスクも高まってきているため、対策を講じていく必要がある。（3）自治会・町会等の地域団体の役員・メンバーの高齢化が進んでおり、地域活動における後継者が不足している。（4）社会教育関係団体の高齢化による団体数・会員の減少。（5）20代から50代の比較的若い世代の公民館利用者が少ない。（6）三咲地区に学校がないことから、近隣の学校との連携が必要である。（7）地震・台風などの災害に対し、地域住民の防災意識を高める。という7つの課題を挙げました。

そして、次の3の重点目標ですが、今申し上げた地域の課題を踏まえながら、記載したとおり（1）から（7）の重点目標を掲げ、それに対して令和7年度の事業計画を掲げております。

次に、令和7年度の三咲公民館の事業計画を説明させていただきます。ページをめくっていただいて、事業計画ですけれども、番号に丸がついているところが新規事業となります。

重点目標の（1）並びに（2）として、「高齢者の参加しやすい事業を企画・実施し、高齢者が心豊かに過ごせる場を提供」を掲げ、これに対応する事業として、No. 1、No. 2の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」を今年度と同様に2講座、No. 3の「三咲寿大学」、No. 4の「認知症予防講座」、No. 5の「回想法で脳を活性化する」という事業を実施する予定です。

重点目標の（3）として、「社会教育関係団体及び地域の町会・自治会等の組織や地域の団体の活動の支援を行い、社会教育関係団体の育成に努める」を掲げ、この目標に対して公民館ができることは限られているのですが、これに対応する事業として、No. 9の「サークル応援講座」、No. 10の「三咲公民館サークル活動自由見学ウィーク」を実施する予定です。

重点目標の（4）として、「現代的課題や地域の課題に取り組む事業、住民の学習ニーズに対応する事業、20代から50代の若い世代が興味を抱く講座等を実施し、成人向け事業の充実を図る」を掲げ、これに対応する事業として、成人向けにリカレント的な教育を行う No. 12

からNo.14までの事業を実施する予定です。

重点目標（５）として、「併設している児童ホームと連携・協力して子育て支援を実施し、地域の子育て世代が交流できる場を提供する」を掲げ、これに対応する事業として、No. 18の「英語で遊ぼう」、No. 19の「助産師さんのベビーマッサージ」を実施する予定です。

重点目標の（６）として、「近隣地域の学校、児童ホーム、地域団体と協力して、青少年が体験・学習できる事業を実施し、青少年の健全育成や居場所づくりに寄与する」を掲げ、これに対応する事業として、「夏休み応援プロジェクト」という名前で２つの事業を計画しております。No. 22「夏休みのポスターづくり」、No. 23「こども環境教室」を実施する予定です。

重点目標（７）として、昨年の元旦に令和６年能登半島地震が起きましたが、「今後、大きな災害が起こることを想定して、地域住民を対象に災害対策に関する事業を実施し、地域住民の防災意識を高め、災害に備えるための知識と対策方法を共有する」を掲げ、これに対応する事業として、No. 27の「地区防災講座」を地域の方々を対象に実施する予定です。

その他の講座につきましては今年度同様に実施したいと考えております。

三咲公民館からは以上です。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、松が丘公民館さん、お願いします。

○松が丘公民館長

松が丘公民館です。地域の現状からご説明させていただきます。

松が丘地区は、昭和３６年の高根台団地の完成後、５０年代にかけて住宅地として開発が進展し、市街化が形成されました。地域全域は建物が非常に密集する地区となっており、住民は各地より移住してきた方が多数を占めております。現在の地勢は宅地がほとんどで、少しの農地と点在する公園や緑地、それらと学校のグラウンドが土地活用としての防災上の貴重なオープンスペースとなっております。また、管区内には私立幼稚園、保育園が各１園、市立小・中学校、県立高校が各１校と児童ホームが設置されております。

当館は平成５年４月に管区のほぼ中央に設置され、地域コミュニティの拠点として、昨年度（令和５年度）に開館３０周年を迎えました。対象区域は松が丘１丁目から５丁目、令和６年４月１日現在の世帯数は６,０８４世帯、人口は１万２,６０８人となっております。

地区の大きな特徴としましては、６５歳以上の人口比率は、令和６年４月で３７.９３％と市内で最も高齢化率が高い地域です。また、地域の現状としましては、昨年７月の新京成バスダイヤ改正に伴い、船橋駅北口から古和釜十字路系統の廃止や運行本数の減少により、特に高齢者の方でこれまでできていた通院や買い物などでの交通状況のさらなる悪化が懸念されております。高齢者の方だけではございませんが、必然的に行動範囲が狭くなってしまうなど、日常生活でより不便な状況を招いております。

続いて、地域の課題です。こちらは、松が丘地区では子育て支援、高齢者対策、公民館の

課題も含めまして、大きく3点挙げさせていただきました。

(1) 管区内には幼稚園、小学校、中学校が設置され、幼稚園から中学まで同じ環境で同じ仲間と過ごす子供が多く見られます。そのコンパクトな地域内で人間関係を形成・維持していくことは、長所として生かすことができると考えております。古和釜の子供たちはそれぞれの成長過程において地域との関わりを持ち、地域を愛する心を育むことが醸成されているのではと思います。しかしながら、未就学児世帯は核家族化や地域コミュニティの枯渇化等で「孤育て家庭」になってしまうことが懸念されています。児童ホームと連携してアプローチしておりますが、近年では幼稚園のプレ保育事業が年々拡大しているため、平日日中にフリーでいる親子が少ない状況です。親子の実態がなかなか把握できず、事業への集客も含めて取り込みが困難な状況にございます。

続いて、(2) 高齢者に関する課題です。高齢者基本調査などの調査結果では、北部地区全体でリスクが高い傾向が出ています。また、特に残念なことに、松が丘地区は「認知症やうつなどのリスクが高い傾向」との調査結果が出ており、加えて主観的幸福感として、「自分があまり幸せでない」と思われている高齢者の方が松が丘地区に多いということも挙げられております。

最後に、公民館の課題になります。当館は船橋市公共建築物保全計画に基づき、来年度、屋上防水及び外壁改修工事を予定しております。工事では、公民館周囲の設置物の全面撤去が必要であることから、敷地内に設置する地区社会福祉協議会事務所のプレハブ撤去も要することとなりました。移転先については、庁内外の協議を経て館内への移設を予定しております。利用者、来館者への大きな影響としては、工事期間、一般駐車場の使用の全面中止を予定していることを周知いたしました。ふだんから駐車場台数が少ないことで利用する方々にはご不便をかけており「来館時の足がない」というような声を現状でも多数いただいているところです。利用団体、来館者、地域住民の皆様のご理解、ご協力を得て、館内の事業を滞りなく運営し、無事安全に工事完了することを来年度の大きな課題としております。

続きまして、3. 重点目標です。地域の課題に沿った令和7年度の重点目標として5点挙げさせていただいております。事業計画シートの新規事業に対応していない内容もございますが、館の年間の目標としてご説明させていただきたいと思っております。

(1) 子育て支援の観点から、公民館の社教団体や地区社、スポ推、自治会など、地域住民の方々のご協力により、子供同士や地域の大人との交流を図る機会を積極的に創出することで、「ふるさと船橋」、「ふるさと松が丘」に愛着を持つ人づくり、地域づくりを目指します。こちらは事業計画でいう番号の4番から7番の事業が該当しており、新規事業ではございませんが、6番の「オール古和釜ミニコンサート」については、近隣小・中・高校や学校運営協議会との連携、また、次年度からは生涯学習コーディネーターの方との協働も図るなど、地域学校協働活動の一環として位置づけ、将来的に持続可能な実施ができるよう、働きかけをしてまいりたいと考えております。

(2) 高齢者対策です。令和7年度は松が丘が最も高齢化率が高い地域ということではございますが、元気なお年寄りが多い地区ということを将来的に実証していけるよう、高齢者が体力を維持し、社会的つながりを形成できる仕組みづくりの第一歩にしたいと考えています。公民館で体を動かして、友人と会う機会が自然とつくれる。会うことが楽しみになる。そのような高齢者向けの活動やプログラムの定期開催を増やすことで、来館の習慣化を実現させます。こちらは新規事業では34番の「松が丘シルバーリハビリ体操」を実施いたします。先ほど、6年度の事業報告でもお伝えしましたが、市のシルバーリハビリ体操で第1水曜日にいらっしゃる方々が定着している中、スポーツ推進委員会との協働で第3水曜日も定期開催し、月2回の運動習慣をつくることで、健康増進はもちろん、個人利用を増やして公民館をさらに活用していただきたいと思います。

続いて、事業番号とは対応しておりませんが、3点目、地域で活動し続ける方や団体の皆様への支援です。特に利用者支援としましては、これは当たり前のことかもしれませんが、日常で来館者の体調不良や不慮の事故など不測の事態に職員が冷静に対応できるよう態勢を整えてまいりたいと考えております。今年度は当館で事故報告の案件、そのうち急病や交通事故などの発生や救急車通報のその手前という場面も複数ございました。消防や救急などそういった事態が発生した際、いざというときに職員が判断・行動できるよう、こまめにマニュアルを確認し、訓練を行うなど、職員間でコミュニケーションを取り、対応してまいります。

続いて、(4) 施設管理の観点で、当館が設置30年を経過し、水回りなど設備の不具合箇所が多数生じております。日常の点検整備を心がけ、皆様に安心してご利用いただける居心地のいい施設を目指します。

最後、5点目です。改修工事期間中も滞りない施設運営を行うため、利用者、地域住民の理解や協力を得られるよう、誠意ある説明、分かりやすい広報活動を行い、環境整備に努めてまいりたいと考えております。

そのほか、こちらの計画の新規事業としましては、成人一般を対象に健康維持・増進に23番の「リフレクソロジー体験講座」を、また、29番には、「デジタルデバイド対策」として防災をテーマとした講座を実施いたします。また、41番では、「松が丘シネマサロン」と題しまして、身近な場所で名画鑑賞の機会を提供することで映画に親しんでいただきたい。また、実施時間として試行ではございますが、夜間開催を企画しております。住宅街の中で、この夜間の開催がどのようなニーズがあるか検証してみたいと考えております。

新規事業としては縮小傾向にはございますが、例年の事業に関しては丁寧に周知をし、参加者を増やし、来年度、工事の影響により利用者の方にご不便にならないよう、館の運営に努めてまいりたいと思います。

松が丘公民館からは以上です。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、坪井公民館さん、お願いします。

○坪井公民館長

坪井公民館の令和6年度の地域の状況、地域の課題、重点目標についてご説明させていただきます。

令和6年4月1日現在、世帯数は4,865世帯、人口1万2,952名となっております。平成9年からの区画整理事業によりまして人口が増加し、新たな住宅を中心に子育て世代が多く、15歳未満の年齢層が高い地域となっております。ちなみに4月1日現在、全体の20%が15歳未満のパーセンテージとなっております。管内唯一の坪井小学校の児童数は1,200人を超えておりまして、1,227人となっております。

地域の課題といたしましては、(1)として、防災意識が高い住民が多く、坪井地区自治会連合会の方などから関係講座の開催要望などがあり、ニーズに合致した支援が必要だと考えております。

(2)といたしまして、15歳未満の人口が比較的高いことから、子供たちの体験活動、居場所づくりが必要と考えております。

(3)として、新しい市街区には若い世代が多いです。ちなみに64歳以下が85%を占めておりまして、人数としては1万1,010人となっております。従前からの住宅地には高齢者が生活する地域も多いため、ちなみに高齢者の人数としては1,942人、全体の15%となっております。様々な年代や様々な生活環境に見合った学習機会の提供が必要と考えております。

(4)としては、ひきこもりになりがちになったりコミュニケーション不足にならないように、高齢者同士の交流と運動不足対策が必要と考えております。

(5)は、人口構成の中心を占める40～50代、ちなみに全体の35.4%の住民を対象に、子育ての支援や親子の絆を深めるような機会の提供が必要だと考えております。

続きまして、重点目標でございますが、(1)として、「地域の防災について、体験型・実践型の防災学習を実施すること」としております。実際の事業といたしましては事業計画をご覧くださいなのですが、1ページ目の14番「地域防災講座」を、地域の自治会・町会と協力して実施を予定しております。

次に、重点目標(2)といたしましては、「地域の各種団体・機関と連携して子供たちに体験活動や学習の場を提供し、青少年の健全育成、居場所づくりに取り組む」としております。具体的には事業計画1ページの1から4番、2ページの26番「ハッピーハロウィン交流会」、28番「プラレールで遊ぼう」などの事業を地域の団体や大学と連携しながら実施を予定しております。

続きまして、重点目標(3)といたしまして、「様々な世代や環境の方々のニーズを的確に捉え、また、福祉や国際社会との繋がり等を視野にいれながら魅力ある事業を展開し、地域の方が積極的に学習・文化・スポーツ活動に携われる場を提供する」としております。具体

的には、様々な視点から事業計画 10 番、11 番、12 番、15 番などの事業を実施し、多岐にわたるニーズに対応してまいりたいと考えております。

次に、重点目標（４）につきましては、高齢者が家に引きこもらないよう高齢者向け事業を定期的に行い、生きがいくくり、仲間づくりを支援し、また、運動機能を維持するための講座を行います。具体的には、事業計画 19 番から 21 番などの事業を実施し、生きがいくくりや運動機能の維持につなげてまいりたいと考えております。

次に、重点目標（５）につきましては、「子育て世代を支援し、また、親子の絆を深めるために、親子で一緒に参加できる事業等の充実を図る」としております。事業といたしましては、事業計画 1 ページの 7 番、9 番、13 番、2 ページ、22 番、23 番等の講座を実施する予定でございます。

次に、事業計画をご覧くださいまして、個々の事業につきまして新規事業を中心にお話しさせていただきます。

まず、計画 7 の「我が子のためのおもちゃ講座」でございますが、子供の知育に適したおもちゃ選びの学習と、知育玩具づくりの木工作を行う予定でございます。

次に、計画 10 の「メイクアップ講座」でございますが、メイクアップの基礎等を学び、参加者各自の魅力アップを図るとともに、自分好みの口紅づくりに挑戦いたします。この事業は習志野台公民館と共催で実施いたします。

続きまして、計画 11 の「大人の折り紙教室」でございますが、講師は坪井地区の民生委員さんで、各事業でもボランティアとして協力していただいている方でございますが、折り紙が趣味で、毎月季節に見合った作品を窓口に飾っていただいております。立体的な花束ですとか果物のリースですとか、一見折り紙とは思えない作品をつくる方でございまして、講師をお願いしたところ快諾していただき、実施することとなったものでございます。

続きまして、2 ページ目の計画 22 「ファミリーわくわく体験教室」を実施します。親子での体験を通じて子育て世代を支援し、絆づくりの一助といたします。

次の計画 23 「絵本の読み聞かせ方教室」につきましては、子育て支援の一環として、幼児の保護者を対象に絵本の読み聞かせ方の講座を実施するものです。これらの事業はいずれも重点目標（５）に対応した事業でございます。

坪井公民館からは以上となります。

○朝隈委員長

ありがとうございました。いろいろな計画、ありがとうございます。

それでは、議事の（２）、（３）につきまして、ご意見、ご質問等、何かございますでしょうか。

斎藤さん。

○斎藤委員

二和さん、八木が谷さん、三咲さん、松が丘さんの地域の状況で、「新京成」って出ていま

すけど、今度変わりますよね、京成に。これはこのままでいくという感じですか。

○二和公民館長

これは昨年の4月1日現在のデータで書いておりますので。

○齋藤委員

じゃあ、このままでということ。今年度は「新京成」で行くということですね。

○北部公民館長

現在の状況はというところかというと、今、「新京成」という名前になっているので。

○齋藤委員

じゃあ、次年度から変わるか、「旧」でいくか、どちらかになるということですね。分かりました。

○朝隈委員長

ほかにございませんか。

前田さん。

○前田委員

松が丘公民館のほうですが、重点目標の（３）で、先ほど説明いただきましたけれども、その文章の後段のほうで、来館者の体調不良とか不慮の事故に備えるためのいろいろ職員間の手順共有とか訓練とか、こういうことで掲げていただいて、利用者側からすると非常に心強いところでございます。そこで、これは松が丘公民館に限らず、ほぼ全部の公民館に AED が設置されていると思いますけれども、この AED の使用について、万が一、公民館の中でそれを使わざるを得ないような状況になったときのための訓練というのはどうなのでしょうかとということで、取りあえず、まずは松が丘公民館さんはいかがですか。

○松が丘公民館長

今ご質問いただきました AED の訓練というところですが、先日も消防訓練ということで当館は実施いたしました。その中では消火訓練のほうを今回は主に行いましたが、消火器を使つての消火訓練や避難訓練、また、消防設備業者を招いて館内の避難場所やどこの場所で火災が起きたときはどのように動くというような、そういった実施を行ったところです。

そして、今回の反省というか課題の中では、今まさにご質問があったように、AED のほうの訓練も行いましょうということを確認し合ったところです。次は館のできるだけ多くの職員を集めて、地区社協の方々も自衛消防組織の中に属されておりますので、そういった関係する方を含めて訓練をしていきたいと考えております。

○前田委員

ありがとうございます。ぜひそういう訓練を重ねて、どちらの公民館もそういう訓練を進めていただければなと思っております。

○朝隈委員長

ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。

ないようでしたら、ちょっとお願いがあるのですけれども、よろしいですか。

皆さん、重点目標に対してのいろいろなご計画をしていただいております。ただ、重点目標の説明をいろいろ受けているのですけれども、何番が何番に属するというのを、例えば重点目標の（１）はどれとどれというのを、この表の中に書き入れてもらえるとありがたいかなと。ふなばしハッピーサタデー事業は重点目標の何番ですよというふうに、この表の中に入れることが可能であれば入れてもらいたい。重点目標の（２）は何番と何番ですと今（説明を）受けたのですけれども、なかなか頭に入らないので、その番号もこの表の中に入れてもらいたい。全然当てはまらないものについてはその他でも構わないのですが、入れてもらえると非常にありがたいかなと思いました。もし可能であれば。

それと、空き部屋の利用についてですけれども、「成人一般」と書いている公民館と「青少年」と書いてある公民館があります。「成人一般」と書いてあるのは、使うのは大人でもいいですよということですか。「青少年」というのは青少年だけですか。例えば１部屋しか空いていまいなくなったときに、その中に成人も青少年も。これはお勉強するためのものなんですか、この空き部屋利用というのは。そうでなくて遊んでもいいしお勉強してもいいし、何に使ってもいいということですか。いろんな目的を持った子供がそれぞれに来ちゃったら、それぞれ遊びたいという子は遊び、お勉強したい子は勉強ということでもいいということなのか。「成人一般」と書いてあったところもあったので、それはもう大人もいいですよということなのか。

ただ、もう一つ心配なのは、指導者がいないから監督者がいない。そうすると、何か問題が起きないかなという心配もなきにしもあらず。今まではないですかと聞いてみたら、ないということなので、公民館の人たちがどこかで見てくださるのだろうかとは思っているのですけれども、空き部屋利用についての定義みたいなものがあるのかなとちょっと思いましたので、北部公民館長、何かこれについてありますか。

○北部公民館長

こちらについては、よく１階のフロアとかに机を出して、そこで一般の方、サークルさんが打ち合わせたり勉強したりということで開放はしていたのですが、ただ子供たちが勉強する場所がないというところが、今、市内全体で上がっておりまして、たまたま高根台公民館のほうで、こういった形で勉強部屋を開放しようという事業をやったところ、大変好評であったということがあって、市内全域にも広げられないでしょうかというご意見もありましたので、それに基づいて、基本的には子供たちの勉強場所の開放で、勉強場所と遊びと一緒にしてしまうとなかなか勉強する空間としては難しいのかなと。また、同じ部屋に大人と子供を一緒にしてしまうのも安全上どうなのか、いろんな方を一緒に入れてしまうと課題になってしまうのかなというところがありまして、今は子供のほうを中心に考えてはいるのですけれども、館の運用とかその辺の状況にもよって全体的にまた課題等も出てくると思いますので、そこは洗い出して、また翌年度以降検討していきたいなど。

また、空き部屋のところだと誰が使っているか分からないので、勝手に誰か大人の方が開けてしまうということもあるので、北部としては、今スタディースペースで開放していますよということで、貼り紙みたいなものは置いてはございます。

○朝隈委員長

ということは、目的としてはお勉強を。

○北部公民館長

現状としてはそちらを中心で考えていまして。

○朝隈委員長

ということですね。例えば勉強している子の部屋しか空いていなかった。でも遊びたいなといって来た場合、ゲームでもしたいなといって来た場合は、もうお部屋が空いていないから断るということ。

○北部公民館長

あとは、例えばその部屋の中で勉強とかをされている方に、静かに遊びたい子も来ているので一緒に同じところで使えるかどうかの確認をしたりという形で、ある程度柔軟な運用を考えたいなと思います。ただ、実際に遊びに来る子が1人で来ればいいですけど、何人かで来ると、黙って遊んでいるかということ、なかなかそこまでは難しいのかなと。私も昔、児童ホームにいたことがあるのですが、ゲームとかをやり出すと、小・中学生もそうですが、おしゃべりとかが多くなってしまって、勉強部屋として同じように共有できるのかなというところは、課題かなと思います。

○朝隈委員長

問題などは今のところ起きていないみたいですけど、これが人数が増えて何か問題が。結構問題いっぱいありますよね、考えてみたらいろいろと。

○北部公民館長

課題を出せば……。

○朝隈委員長

それがぐだぐだにならないように交通整理して行って、うまくやっていただけたらいいかなと。

○北部公民館長

そうですね、そこは職員のほうでたまに巡回をするのは必要になってくるのかなと。

課題としては、夜間、職員が帰ってしまった後にも開放してしまうと、安全上どうなのかなというところがあるので、その部分は学習スペースとしての提供になると職員のいる時間になってしまうのか、その辺はまた利用者さんのニーズなども踏まえて職員体制も考えなければいけないのかなと思います。

例えば、ここの北部地区ですと夜になると帰ってしまいますけれども、二和さんとか駅に近いところだと、子供たちがどうしても集まってしまうようなところになるので、場所とか

地域によって、夜間を望む地域もあるかもしれないけれども、そこはそこの地区で頑張ってくれともちょっと言い切れないところもあるので、運用上はある程度統一的なルールは設けないといけないのかなと思っています。

○朝隈委員長

問題がないようにやって、これはいいことじゃないかなと私も思いますので、続けていってもらふことにはいいかなと思いますけれども、やっぱり公民館も人手が足りないですね。ここの監督をしろと言ったってできないわけですね。

○北部公民館長

はい。

○朝隈委員長

その辺はうまくやっていっていただけたらいいかなと思います。

それから、デジタルデバインドに関してですけれども、やっぱりこういう僻地ほど、キャッシュレスとかネットで購入とか、こういうのってすごく必要だなと私思いました。やっぱりお店もないし何もないしという、私、全然疎いのであまりよく分からないのですが、ネットで間違いのないような買い方、キャッシュレスとか。問題がいろいろありますよね。そういうお勉強ってすごく必要だなと私思いましたので、これからそちら方面を特にお年寄りに、私なんか特に飲み込みが悪いですから、そういうのを続けてお勉強をしていってもらえたらいいかなと私も思いました。

それから、松が丘公民館さん、工事に入りますので住民とのトラブルがないように。館長も心を痛めているみたいですけど。お部屋は使えるんですね。ただ、駐車場とかが全然ないと大変ですものね。トラブルがないように、よろしくお願いします。

以上でございますけれど、ほかに何かございませんでしょうか。

もしないようであれば、議事（２）と（３）、ご承認いただいてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○朝隈委員長

それでは、承認ということでありがとうございます。

議題の（４）に入る前に５分ほど、ちょっと時間も差し迫っていますけれども、５分ほど休憩いただいて。どうしますか、補佐。

○事務局（北部公民館長補佐）

お時間もちょっと遅いので５分ぐらいということで、様子を見ながらということでしょうか。

○朝隈委員長

そうですね。

○事務局（北部公民館長補佐）

そうしましたら、こちらの時計で、今１０分過ぎたところなので、２０分前ぐらいまでには

お戻りいただけたらということで、よろしいですか。

(休憩)

(入江委員 退席)

○朝隈委員長

それでは、皆さんお戻りのようなので、始めてよろしいですか。校長先生はお帰りになったので。

<議事4> 非公開の審議であるため、船橋市付属機関の会議の公開実施要綱第8条第3項の規定に基づき、記載を省略します。

○朝隈委員長

ほかに本日の会議全体で何かございますでしょうか。

なければ、以上をもちまして令和6年度第5回北部公民館運営審議会を閉会いたします。
ありがとうございました。

午後5時53分 閉会